

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>



JF
JF香川漁連

高松市北浜町8-25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699

浅野組合長 秋の叙勲受章



浅野 博 海

粟島漁業協同組合代表理事組合長

11月3日、平成22年度秋の叙勲受章者が発表され、香川県においては64名の方が受章された。

県下水産関係者では、粟島漁協浅野組合長が永年に亘る水産業の振興発展に貢献された功績により、旭日単光章を受章された。

浅野組合長は、平成10年粟島漁協組合長に就任し、漁協の行う各種事業の堅実な運営を図ると共に、平成11年には信用事業の香川県信用漁業協同組合連合会への譲渡を実施した。また、豊富な漁業経験と、粘り強い指導力によって、漁業種類間の調整を図り組合員の安定した操業に寄与してきた。

平成14年6月には「粟島・志々島漁協合併協議会」を設立し、会長に就任して、平成15年7月に両漁協の合併を成し遂げた。

その後も、組合長として、事業管理費の削減、組合員の系統利用率の堅持によって、堅実な漁協経営を行っている。

さらに、香川県漁業協同組合連合会理事、香川県漁業共済組合監事として、また、平成18年には三豊郡漁業組合連合会長に就任し、県下水産業の振興、関係団体の発展と健全な運営に大きく貢献されている。

県魚「ハマチ」指定15周年 記念イベント開催

11月7日(日)高松市丸亀町壺番街前三町ドーム広場にて、県産水産物のシンボルである県魚「ハマチ」が、平成7年11月7日に指定され15周年を迎えることから、改めてハマチが県魚であることの周知徹底を目的として県魚「ハマチ」指定15周年記念イベント(主催 さぬき海の幸販売促進協議会)が開催された。



オープニングセレモニーⅠ

オープニングセレモニーでは、服部郁弘さぬき海の幸販売促進協議会会長、県議会平木享副議長が挨拶され、岡市友利香川大学元学長からは「ハマチ」が県魚になった経緯の話が披露された。また、15年前県魚に指定された時にイメージキャラクターをデザインした上林初美さん(旧姓森初美さん)に記念品と花束が岡市香川大学元学長から贈呈された。



オープニングセレモニーⅡ

生産者の言葉では、司会者によるインタビューに答える型式で、「ひけた鯛」 鎌田篤史氏、「なおしまハマチ」 河元孝裕氏、「オリーブハマチ」 嶋野文太氏の3氏が、それぞれのハマチの特徴やアピール点、これからの目標、養殖に懸ける想いを語った。また、ハマチ、ノリ、イリコのPRとして嶋野勝路香川県かん水養殖漁業協同組合長、富山晴良伊吹漁業協同組合長、森朝征香川県海苔養殖研究会会長がそれぞれPRを行った。

ステージイベントでは、チビッ子を中心としたおさかなビンゴゲーム大会で、さかなの名前でビンゴゲームを行いチビッ子達が次々に賞品をゲットして

ていた。また参加者が「県魚ハマチ」に関する問題に挑む、おさかなウルトラクイズでは難しい問題でありながら予選を通過した5名は、早押し問題に答えて優勝者はハマチのフィレを獲得していた。



ステージイベント

直販コーナーにおいては、初摘み香川県産ノリを使った瀬戸のオリーブ海苔の販売、また伊吹イリココーナーでは伊吹産イリコの試食販売を行った。

キッズ体験コーナーでは、「貝がらお絵かき」と[イリコモンスターを探せ]があり、[イリコモンスターを探せ]では、イリコに混じっているイカ、魚の稚魚、エビ等を選別し普段では触ることのない[イリコモンスター]を親子で触って体験していた。また、「貝がらお絵かき」では普段描くことが出来ない貝がらにアニメキャラクター等を楽しそうに描いていた。

展示コーナーにあるオリーブハマチの水槽では、「これがオリーブハマチ?」「他のとどこが違うの」と珍しそうに写真撮影する人や、多くの親子連れが見入っていた。



大盛況の試食会場

そして何と言ってもメインは1,000人分の香川ブランドハマチ三兄弟の刺身試食で、混雑を避けるため時間帯を5回に分けて実施したが、どの時間帯も長蛇の列で、試食に参加した人からは「さっぱりして美味しい。」「食べ比べると味の違いが分かる。」「早速、ハマチのお刺身をスーパーで買って帰る。」との声があり大盛況であった。

イベントの最後には浜田恵造香川県知事が、忙しい公務の合間を縫って来場され、県魚「ハマチ」指定15周年のお祝いの言葉を頂きイベントは大盛況の内に終了した。



挨拶する浜田県知事

お魚大使による挨拶

漁協役員研修会開催

11月22日(月)漁連会館6階大会議室において(主催、香川県、香川県漁業協同組合連合会、香川県信用漁業協同組合連合会、全国共済水産業協同組合連合会四国事業本部香川支店)漁協役員研修会を開催した。この研修会は、的確な業務運営や社会規範遵守のためのコンプライアンス態勢の確立、経営の健全化等、これらを規程に基づき適切な処理を行うことを目的として開催したもので県下漁協役員約90名が参加した。

主催者を代表して県漁連多田常務の挨拶後、県水産課竹森副主幹、牧野主任、県漁連吉田副調査役、八木副調査役、富永税務顧問らが説明を行い、出席者全員が熱心に聞き入っていた。研修項目は下記のとおり

記

- (1) 資産自己査定の変更に係る基準の変更について
- (2) 総会議案の提案理由について
- (3) 業務報告書作成上の注意点について
- (4) 無線事業収支計算表の作成と収支事務について
- (5) 組合員の脱退手続きについて
- (6) 平成22年度常例検査における主な指摘事項について
- (7) その他
 - ①耐用年数の留意点について
 - ②改正税法について



熱心に聞き入る出席者

主な行事予定(12/1~12/31)

- 12月16日(木) 第1回ノリ共販
- 20日(月) 理事会
- 25日(土) 第2回ノリ共販
- 28日(火) 仕事納め